

アメリカ政府発 借り入れ手段枯渇



◆激動する今日、経営の神様から学ぶこと多し!

アメリカ政府発「10月17日までに借り入れ手段が枯渇」とのニュースが9月25日流れました。ルー・アメリカ財務長官は「連邦政府は10月17日までに借り入れ手段が尽きる見込みで、手元資金はわずか300億ドル程度となる」との試算を明らかにしました。長官はアメリカ議会指導部に宛てた書簡で「政府が支払い不能に陥れば、壊滅的な結果を招く」とし、債務上限引上げに迅速な行動をするよう要請したのです。

アメリカの経済が、基軸通貨のドルが安定、成長過程にあると思われていましたが、財務問題が再び持ち上がってきました。

世界各国の為替、株価、金融等市況が、ちょっとした出来事で神経質に、また激しく乱高し揺れ動いています。日本の国債は安定しているのですが、果たして1,000兆円の借金大国が本当に大丈夫なのでしょうか。

9月11日、長野地区本部では「松下幸之助・日本の将来を思う」のDVDを使い研修会を開催しました。

今から34年前の肉声映像ですが、これからの日本社会、日本民族、企業経営に大変示唆に富んだものがあります。講演録を一部抜粋し特集します。

CONTENTS

巻頭	1
松下幸之助講演録	
日本の将来を思う	2
素直な心を養う	4
写真で綴る関連事業・スケジュール	6
PETIT情報・編集後記	6